

記者発表資料  
平成16年4月23日  
都市計画局企画調査課担当課長  
金子修久 671-4053  
港湾局港湾整備部担当課長  
佐藤敬 671-2894

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者各位

## 東神奈川臨海部の海に開かれた新たな街づくり！

### －「東神奈川臨海部周辺地区」再編整備計画を策定しました－

本市では、平成14年3月に、関内・みなとみらい21地区などの横浜都心臨海部と京浜臨海部地域とを結節する「東神奈川臨海部周辺地区」（約170ha）を京浜臨海部地域の再生を先導する地区として指定し、当地区の土地利用や基盤整備等についてこれまで検討を進めてきましたが、このたび「東神奈川臨海部周辺地区 再編整備計画」を策定しましたので、お知らせします。

なお、計画の策定に当たっては、国など関係機関との協議会における検討や、地元関係者からの意見などを勘案しました。

今後は、整備の推進に向けて、関係機関によるまちづくり連絡協議会の設置を行うとともに、東高島駅北地区について、コーディネーターの都市基盤整備公団と連携して地元主体によるまちづくりの組織化・運営を支援します。

#### <「東神奈川臨海部周辺地区 再編整備計画」のポイント>

##### ○ 公共と民間が再編整備シナリオを共有します！

本計画の策定により、公共と民間が概ね**今後15年間の再編整備シナリオ**を共有し、既存の機能との調和を図りながら、**段階的な土地利用転換や基盤整備**を進めることが可能となります。

具体的には、個別事業ごとに整備主体や整備時期などを位置づけた「**整備プログラム**」を定めています。

##### ○ 駅周辺から海方向に向かう新たな都市軸をつくります！

本地区のランドデザインの実現のために、駅周辺から海方向に向かう「**神奈川みなとの道**」の整備などを通じた**新たな都市軸の形成**や水辺・緑・歴史を活かした都市環境形成を進めます。

##### ○ 臨海部の先導的事業を契機（トリガー）として、波及させていきます！

旧浅野ドック跡地の再開発（平成20年度建物竣工予定）や臨港幹線道路の整備（山内～瑞穂区間、平成18年度完成予定）などを契機（トリガー）として、その波及効果を誘発していきます。

##### ○ 民の力や国の制度を活用します！

道路整備などにおいて、民の力を積極的に活用するとともに、個別の整備事業について、国の補助制度を最大限に活用します。

(参考)

## 経緯等

平成11年8月 京浜臨海部地域 都市・居住環境整備重点地域指定（国土交通大臣）

平成13年3月 同 地域 都市・居住環境整備基本計画策定（国、川崎市、本市）

平成14年3月 東神奈川臨海部周辺地区指定（本市）

平成16年3月 同 地区再編整備計画策定（本市）

※計画策定にあたっては、国の事業制度である都市再生総合整備事業(国土交通省都市・地域整備局所管)、ポトリノベーション事業(国土交通省港湾局所管)を活用しました。

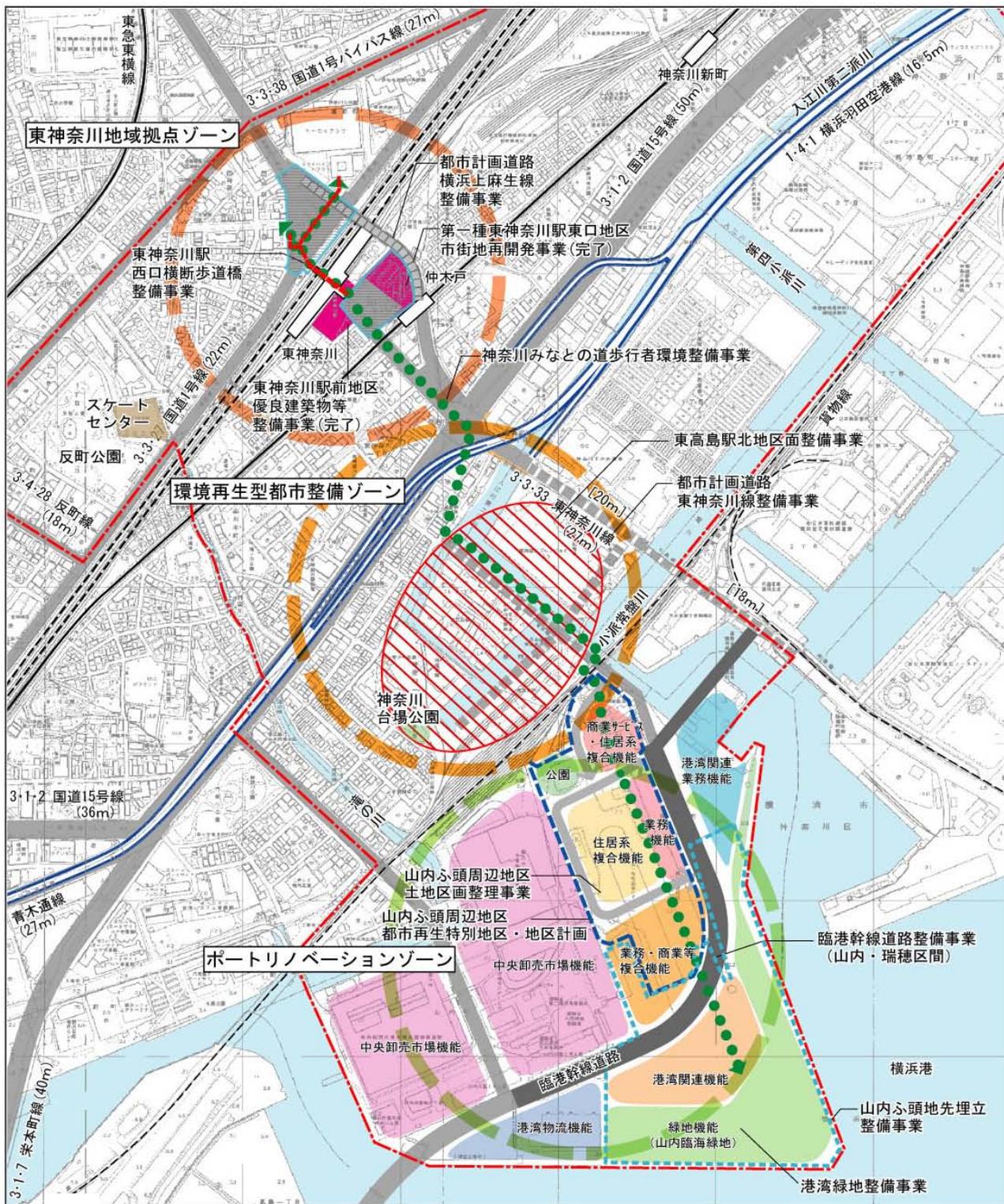
## 東神奈川臨海部周辺地区の位置

JR 東神奈川駅や京急神奈川新町周辺から臨海部にわたる一体的な地区であり、東神奈川1丁目、新浦島町、橋本町などを含み、面積は約170haです。

## 添付図・表

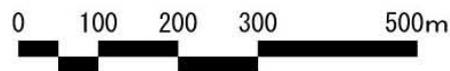
- 1 東神奈川臨海部周辺地区の再編整備グランドデザイン
- 2 東神奈川まち・海軸の重点整備
- 3 神奈川新町・新浦島町軸の重点整備
- 4 水、緑、水辺を活かした美しい都市環境への再編
- 5 整備プログラム

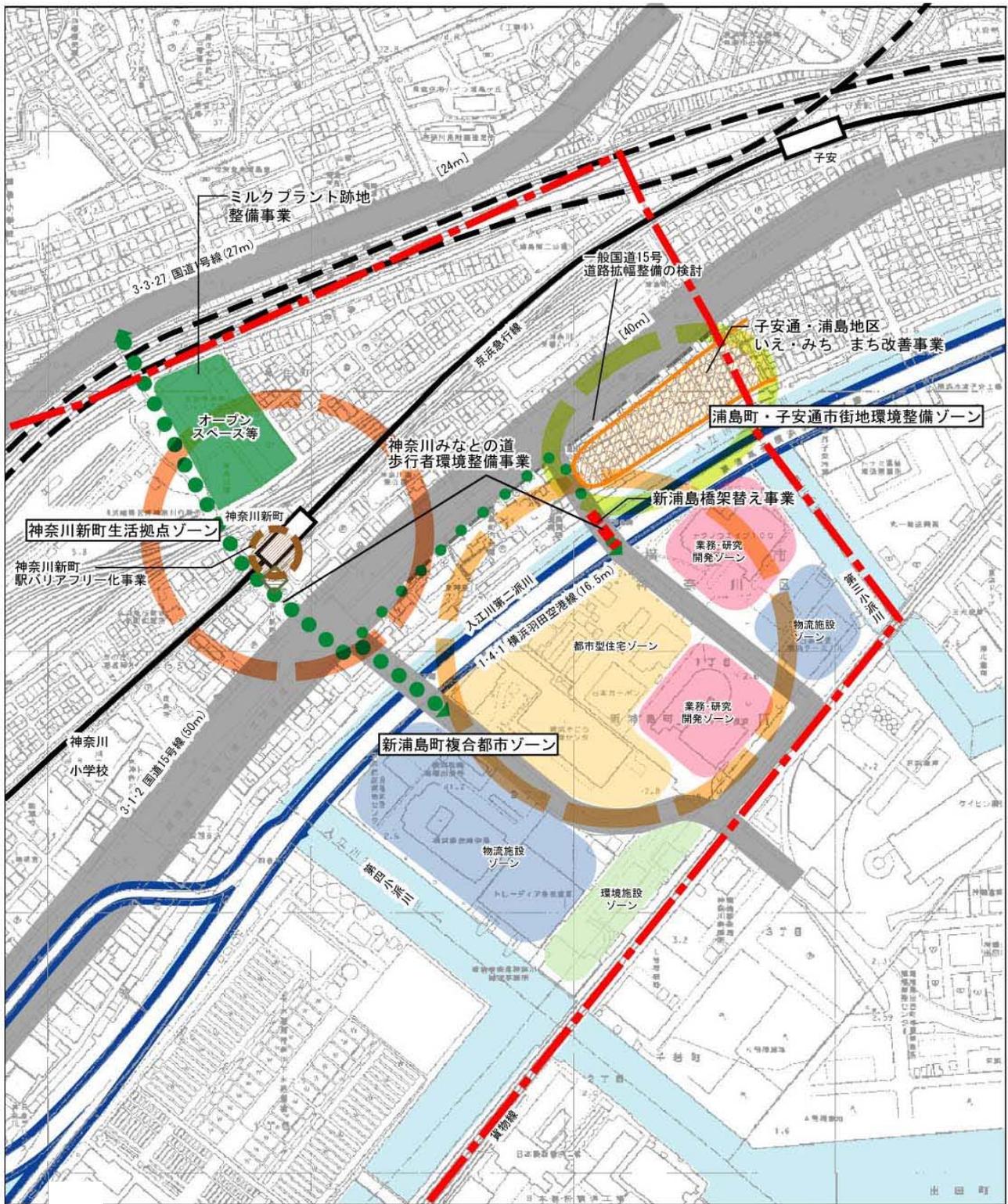




東神奈川まち・海軸の重点整備

- |   |  |
|---|--|
|  東神奈川臨海部周辺地区 |  ゾーン      |
|  鉄道 (JR)     |  神奈川みなとの道 |
|  鉄道 (私鉄)     |  |
|  自動車専用道路     |  |
|  都市基盤 (道路)   |  |

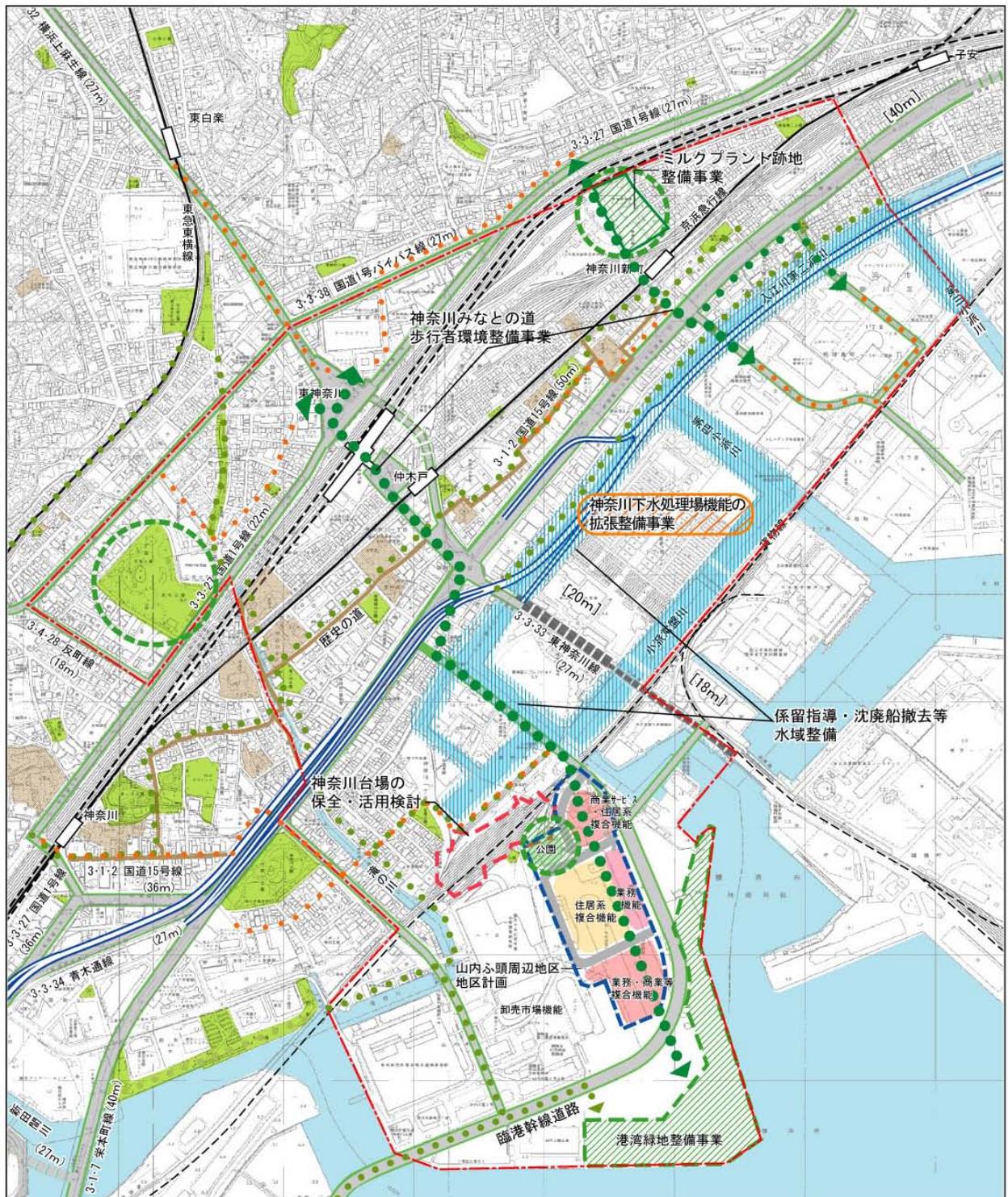




神奈川新町・新浦島町軸の重点整備

- |   |             |   |         |
|---|-------------|---|---------|
|  | 東神奈川臨海部周辺地区 |  | ゾーン     |
|  | 鉄道 (JR)     |  | 神奈川みなの道 |
|  | 鉄道 (私鉄)     |   |         |
|  | 自動車専用道路     |   |         |
|  | 都市基盤 (道路)   |   |         |





### 水辺を活かした美しい都市環境の再編

- |   |  |
|---|--|
|  東神奈川臨海部周辺地区 |  神奈川みなとの道       |
|  鉄道 (JR)     |  歩行者基本ルート (構想)  |
|  鉄道 (私鉄)     |  プロムナードルート (構想) |
|  自動車専用道路     |  水域整備           |
|  都市基盤 (道路)   |  緑地等整備          |



整備プログラム

区分	事業名	整備の規模	事業概要	事業主体	整備時期		
					短期	中期	長期
					～H20	H21～25	H26～30
(1) 基盤施設整備事業	都市計画道路横浜上麻生線未整備区間の整備事業	幅員 25m延長 約500m	・ J R線の東西を結ぶ幹線道路 ・ 鉄道軌道のアンダーパス区間の整備	横浜市			
	都市計画道路東神奈川線の整備事業	幅員 27m延長 約500m	・ 臨港幹線道路と横浜上麻生線を結ぶ幹線道路として現道を拡幅整備	横浜市			
	臨港幹線道路整備事業	幅員 約44m延長 約2,700m	・ MM21側と本地区を接続する臨海部を結ぶ幹線道路 ・ 山内ふ頭周辺地区の再開発と併せて、一体的に整備 [山内・瑞穂区間]	横浜市			
	一般国道15号拡幅整備事業		・ 一般国道15号の暫定整備区間について、拡幅整備の検討	国			
	東神奈川駅西口横断歩道橋整備事業	幅員6.5m延長約34m EV3基	・ JR東神奈川駅西口横断歩道橋の拡幅整備、バリアフリー化	国・横浜市			
	新浦島橋架替事業		・ 新浦島橋の架替えと一般国道15号までの歩道の整備	横浜市			
	神奈川みなとの道歩行者環境整備事業		・ 東神奈川駅周辺と臨海部を結ぶ歩行環境整備など ・ 神奈川新町駅とミルクプラント跡地や一般国道15号を結ぶ歩行環境整備など	国・横浜市 ・ 民間			
	神奈川新町駅バリアフリー化事業		・ 京急神奈川新町駅のバリアフリー化	民間			
	東海道貨物支線貨客併用化・新駅設置		・ 既存の鉄道を利用した貨客併用化及び新駅設置の検討	未定			
(2) 面的整備事業等	山内ふ頭周辺地区土地区画整理事業	約7.1ha	・ 旧浅野ドック跡地を中心とした土地区画整理整備事業による住宅、事務所、商業施設の複合開発	民間			
	東高島駅北地区面整備事業		・ 地区全体で協調して、運河の活用による環境整備を凶るとともに、大規模低・未利用地の段階的な土地利用転換をすすめ、新たな都市機能の導入を促進する面整備事業を一体的に実施(都市基盤整備公団が横浜市の要請によりコーディネートを実施中)	未定			
	山内ふ頭地先埋立整備事業	約12ha	・ 臨港幹線道路の海側を埋立し、港湾緑地の他に港湾関連施設を整備	横浜市			
(3) 公園・緑地等整備事業	ミルクプラント跡地整備事業	約1.0ha	・ 既存の浦島公園の拡充整備と併せて、防災に資するオープンスペース等を整備	横浜市			
	港湾緑地整備事業	約6.4ha	・ 山内ふ頭地先埋立整備事業を受けて、親水型のウォーターフロント緑地を整備し、臨海部の緑の拠点形成を行う。	横浜市			
	神奈川下水処理場拡張整備事業	約3ha	・ 設備更新に併せた神奈川下水処理場の機能の強化に伴う拡張整備	横浜市			
	係留指導・沈廃船撤去等水域整備		・ 入江川派川など公共水域の不法係留や沈廃船について、巡回パトロールや所有者の確認・移動などを行う。また、まちづくりの中で運河の一部埋立を検討するとともに、護岸対策を進める。	横浜市・民間			
(4) 土地利用誘導計画	山内ふ頭周辺地区都市再生特別地区・地区計画	約7.1ha	・ 山内ふ頭周辺地区で先行整備が進められている土地区画整理事業地区について、土地利用の適切な誘導を行うために都市再生特別地区・地区計画を適用	横浜市			
	子安通・浦島地区いえ・みち まち改善事業	約1.4ha	・ 一般国道15号沿いの防災上課題のある密集住宅市街地を対象に、住民との話し合いを進めながら、耐震改修助成や狹隘道路の拡幅整備などを進める修復型市街地改善事業を実施	横浜市・民間			

※事業主体や整備時期などは、今後の検討を進める中で変更することも考慮するとともに、民間の開発動向や社会情勢などを踏まえ、柔軟に対応することを基本とする。